



自ら掴む経営エッセンス！

(記事：いどばた稲毛) 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>

12/11(火)

テーマ：『出入幽頭』

出席53社53名

(美浜33、他会7、非会員13)

講師：千葉県倫理法人会会長 寒竹 郁夫 氏

「縁のある人を紹介しながら、起業からの経緯をお話したい」



Ikuo Kantake

この講和は、寒竹さんの恩返しなのかもしれない。どっと上がる笑い声、楽しく温かい雰囲気です。

第9代目の県会長となり3ヶ月、「出入幽頭」をテーマに、県内46単会すべてのMSを回る寒竹氏が、ついに出身の美浜に来てくれた。後ろに2列椅子を追加した超満員の会場には、温かく懐かしい空気が流れる。寒竹氏は会場を見渡すと、「縁のある人ばかりなので、今日は特別に、起業からの経緯をお話したい」と講和を始めた。

(※出入幽頭については、12月マンスリーP2～5ご参照)

昭和62年 寒竹歯科医院開業
平成 2年 郁栄ビル竣工 バブル崩壊 入院

今からちょうど20年前、昭和62年に稲毛海岸駅前にある高貴さんのビルで、寒竹歯科医院を開業した。「小さな医院でした。順調に患者さんも増え、売上は600万程度でした」と振り返る。

平成2年、4億円の借金で郁栄ビルを竣工した直後、バブルが崩壊する。湾岸戦争で金利は3倍に上昇、朝8時半出勤・深夜2時帰宅の日々に急性肝炎となり、1ヶ月入院した。だが、入院中に安岡正篤さんの著書で陽明学と出会い、「肉體も命も全てがなくなった時、最後に残るのは志のみ」に感銘を受け、日本一の歯科医院になるという志が立った。「これが、その後の人生に役立った」。

平成 3年 医療法人社団郁栄会 設立
平成 6年 1人の政治家 河野さんとの出会い

歯科医院は個人開業医がほとんどだ。「グループ化できないか」と考えて、平成3年、医療法人社団郁栄会を設立。平成6年には「部長職を投げ打ってでも、日本を変えたい」と語る、志の塊の人・河野さんに出会った。後援会長となり、手作りでの選挙活動だったが、翌年の統一地方選で見事トップ当選、大きな感動・喜びを得た。

平成 9年 訪問歯科診療開始、『竹の思想』出版
平成10年 デンタルサポート株式会社 設立、倫理法人会 入会

医学の進歩に反比例して年々増加する医療費に注目し、「治療から予防」へ、「施設・病院から在宅へ」を理念に、平成9年訪問歯科診療を開始、平成10年にはデンタルサポート(株)を設立。節目の40歳を迎え、自らの思いを『竹の思想』にまとめ、自費出版した。これに感激して連絡をくれたのが、桑畑さんを初めとする20人。「竹の会」を作り、桑畑さんの紹介で倫理法人会入会。当時の美浜倫理は月例企画でもわずか5人という状況だったが、陽明学を学んでいたもので、内容に違和感はなかった。

平成12～13年 大手介護会社による買収事件、入院

平成12年、大手介護会社の買収を拒否すると、役員以下15名が引き抜かれ、そっくりの会社を創られた。竹の会で相談し、裁判を起こすと、佐藤さんによる稲毛新聞でのスクープ(この記事でJLNAブロンズ賞受賞)がきっかけで、民意の応援もあり、裁判も落着。平成13年、心労から入院して、「再び倫理の勉強を」と決意した。

平成14～ 倫理法人会活動復帰、副会長・会長を経て美浜100社達成 ～現在へ

倫理復帰と同時に、副会長を頼まれた。内田さんからのアドバイス「仕事仕事もいいけれど、やはり世のため人のための活動も大事でしょう？」に、素直にそう思い副会長を、その後は高橋さんの優しさに打たれて会長を受けた。無我夢中で磯野専任幹事と半ば強引に縁のある人を誘い、100社を達成。「最高！」と叫んだ。女性も増え、会らしくなって、吉田直前会長・鳥居現会長にうまく引き継がれて今がある。

ロックフェラーも、「宗教観に裏打ちされた倫理がなければ、地球は終わる」と言った。今後益々倫理は脚光を浴びるだろう。その時、「出入幽頭」を根本原理とする倫理の真髄を正しく伝えることが重要だ。皆で実践をして、皆で繁栄したい。

次回 第858回MS！ 12/18(火)6時～7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張(043-297-7777)

テーマ： 自主企画 『人材派遣の現状』

講師：(株)ITNサービス 取締役 半村 貞夫 氏

できるできるやればできる！
明るく楽しくなければ倫理じゃない！
・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく